

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

人と人をつなぐ！まごころネットワーク確立計画

～ 情報発信とおもてなしによる販路拡大と誘客 ～

2. 地域再生計画の作成主体の名称

真庭市

3. 地域再生計画の区域

真庭市の全域

4. 地域再生計画の目標

真庭市は、岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置し、東西に約30km、南北に約50kmの広がりを見せている。総面積は約828km²で、岡山県の約11.6%を占めており、県下で土地活用の可能性の最も大きな市である。本地域の北部は、大山隠岐国立公園の一部であり、「蒜山三座」をはじめ津黒山など標高1,000m級の山々が鳥取県との県境を形成しており、その南部には蒜山高原や津黒高原などの広大な高原地帯が広がり、牧歌的な高原風景を醸し出している。

また、中部には「美作三湯」の一つである湯原温泉郷や神庭の滝、勝山町並み保存地区などの多くの観光資源がある。毎年、蒜山高原や湯原温泉を中心として多くの観光客が訪れ、岡山県下でも倉敷に次ぐ大きな観光地である。本市では、これらの地域資源を点から線へと結び、「観光回廊 真庭」をキャッチフレーズに500万人の誘客を目指している。加えて、観光産業の振興には地域資源の魅力アップを柱に、地域の特性を強みに変えるための小規模事業者の連携支援の取り組みも行っている。平成21年度からはご当地グルメによる観光振興を目指し、蒜山地域の商店が連携した「ひるぜん焼そば好いとん会」の設立を支援し、翌平成22年の「B-1グランプリ in 厚木」でシルバーグランプリを、続く平成23年の姫路大会ではゴールドグランプリを受賞した。それらの地域資源を活用した取り組みは、蒜山の名を一気に全国区へと押し上げ、観光客が増加するなどの成果をあげている。

しかしながら、全国的に景気低迷が続く中で、企業の倒産や事業規模縮小が相次ぎ、全国平均以上に雇用状況が悪化し、津山公共職業安定所管内の有効求

人倍率は平成23年12月末で、0.84（岡山県平均1.00）となっており、雇用情勢の改善が急がれている。

今後は、市独自事業や「地域雇用創造推進事業」など、魅力アップを目的としてこれまで行ってきた取り組みを「第1ステージ」、連携を柱にした取り組みを「第2ステージ」と位置づけ、個を輪に繋げ、人と人とを繋げる連携強化である「第2ステージ」の取り組みを計画している。中でも「実践型地域雇用創造事業」は観光関係団体はもちろんのこと、農林関係団体や近隣市との連携事業の中核的事業であり、農業や商業、観光業などの産業間や事業所同士が、アンテナショップの活用や情報発信などを連携して行い、販路拡大、誘客に繋げ、観光産業の振興による雇用創出を図る。

（目標1）実践型地域雇用創造事業による雇用機会の増大

真庭市は低迷する経済情勢の中、誘客500万人と観光産業の振興による雇用の創出を目指している。観光業を中心とした各事業所、関連団体等のもとより、求職者に対してのスキルアップを行い、各分野が連携して観光資源の魅力アップを図ることにより、新たな雇用の創出を目指し、雇用の創造、若者の定住化、雇用機会の拡大を図る。

市内事業所での雇用者数増

①1年度目	41人	（常勤	24人、常勤以外	15人、創業者	2人）
②2年度目	59人	（常勤	31人、常勤以外	21人、創業者	7人）
③3年度目	68人	（常勤	41人、常勤以外	19人、創業者	8人）
合計	168人	（常勤	96人、常勤以外	55人、創業者	17人）

5. 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

真庭市では、真庭市地域雇用創造協議会を主体とし、地域雇用情勢の改善を目的とした「実践型地域雇用創造事業」に取り組み、事業者向けには雇用拡大に資する研修や求職者向けには人材育成研修、求職者への情報収集や提供を行う就職サポート事業、真庭市のPRなどを行う実践事業を行う。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

なし

5-3 その他の事業

5-3-1 支援措置を受けて行う取組み

1) 実践型地域雇用創造事業【B0906】

①事業の実施主体

真庭市地域雇用創造協議会

②事業内容

実施しようとする事業の内容

I 雇用拡大メニュー

経営戦略セミナー、ICT活用セミナー、地域戦略セミナー

II 人材育成メニュー

ICT活用人材育成セミナー、地域プランナー育成セミナー

接客マナー向上セミナー、売れる商品開発・販売戦略セミナー

創業支援セミナー

III 就職促進メニュー

情報発信事業、就職サポート事業

IV 実践メニュー

まごころネットワーク構築事業

地域物流体制整備事業、販路拡大事業、ICT活用事業

商品開発事業、PRマッチング事業

5-3-2 支援措置によらない独自の取組み

1) 観光回廊真庭の推進

a 内容：観光客誘致推進事業（誘客500万人を目指す観光関連事業）

- ・旅行エージェント訪問、教育旅行推進、ご当地グルメ支援、キャラクター製作等ネットワーク構築事業、ご当地グルメを活用した観光客誘客推進事業（平成23年）

b 実施主体：真庭市、真庭観光連盟、観光回廊真庭誘客協議会

c 事業規模：観光客誘致推進事業・・・22,293千円（平成23年度）

d 成果：

(a) これまでの実績

「観光回廊 真庭」をスローガンに掲げ、蒜山高原、湯原温泉、勝山町並み保存地区、醍醐桜、北房のホテルなど県内有数の観光資源を点から線へ、線から面へと回廊として結ぶ観光ルートの普及・PRを促進している。また、観光と農林業、商工業の連携による官民一体となった仕組みづくりを行って

いる。

平成21年度には勝山地域の町並み保存地区で活動する「町並み保存事業を応援する会」が、暖簾のまちづくりや勝山のお雛まつりなどの活動が評価され、平成21年度「美しいまちなみ大賞」（国土交通賞）を受賞、さらに、バイオマス関連事業は平成24年の正月番組に取り上げられるなど先進的な取り組みを継続しており、視察など多いことから実施している「バイオマスツアー真庭」は平成21年度第14回「新エネ大賞」（経済産業省）を受賞し全国的にも評価されており、現在も多くの方が参加するツアーとして継続している。

その他にも、平成23年11月のB-1グランプリ in 姫路で「ひるぜん焼そば好いとん会」がゴールドグランプリを受賞し、蒜山を一躍全国区へと押し上げた。また、真庭市内で活動する自主映画を製作する団体「シネまにわ」は平成23年度「東京国際映画祭」「ロッテルダム国際映画祭」へ招待されるなど、市と地域とが連携した取り組みが成果を上げている。

(b) 今後の見通し

これまで行ってきた観光資源の魅力アップや人材育成を継続し、観光地としての魅力アップを継続的に図っていく。同時にそれらの魅力を積極的に情報発信していくためのスキルアップを行い、真庭市の知名度を向上させ、誘客500万人を目指す。

6. 計画期間

地域再生計画認定日～平成27年3月31日

7. 地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握・公表するとともに、関係行政機関と地元住民により目標達成状況の評価、改善及び事業の再検討を行うことにより、今後の諸事業に反映させる。